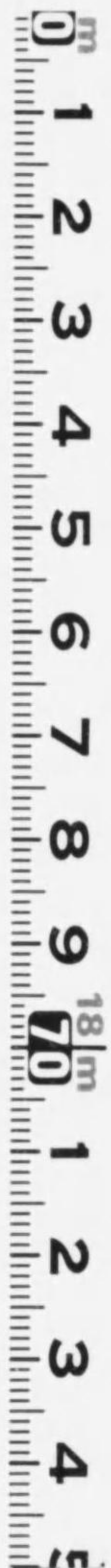


特249

945

日本製鐵株式會社事業概要

日本製鐵株式會社



3

始



特 249
945

日本製鐵株式會社事業概要目次

一 總 說	一
二 組 織	二
三 作 業 概 要	三
四 作 業 工 程	三
五 主 要 製 品 及 副 產 物	四
六 作 業 所	四
八 幡 製 鐵 所	八
輪 西 製 鐵 所	八
釜 石 製 鐵 所	八
富 士 製 鋼 所	一〇
大 阪 製 鐵 所	一
兼 二 浦 製 鐵 所	三
二 瀨 鐵 業 所	三



日本製鐵株式會社事業概要

(昭和十三年九月三十日現在)

一 總 說

我國ノ製鐵事業ハ國運ノ隆昌ニ伴ヒ漸次發展シ來ツタガ、民間製鐵事業ノ多クハ歐洲大戰當時ノ新設擴張ニ係リ、設備ノ改善、資本ノ整理等十分ナラズ、而モソノ後襲來セル不況ニ累セラレテ合理化ヲ圖ル餘裕ナク、八幡製鐵所亦官營ノ爲メ、經營上種々ノ拘束ガアリ、本邦製鐵事業全體トシテノ統一的發展ヲ期スルコトガ出來ナカッタノデアアル。コノ情勢ヲ改善スベク政府ハ屢々調査委員會ヲ設ケ、斯業ノ確立振興ニ關スル根本方策ヲ議セシメタル處之等調査委員會ハ何レモ官民ノ製鐵事業ヲ打ツテ一丸トシタル合同會社ヲ創リ、ソノ統制力ト堅實ナル資力トニ依ツテ斯業ノ徹底ノ合理化ヲ圖ルノ外方策ナキ旨答申シタ結果昭和八年春日本製鐵株式會社法ノ公布トナリ、同九年一月二十九日愈々當會社ガ創立セラレタノデアアル。

即チ政府ヨリ福岡縣八幡市ニ於ケル官營ノ製鐵所工場及其ノ鑛山ヲ現物出資シ、ソレニ民間製鐵會社中六工場ノ現物出資ニヨツテ資本金參億五千九百八拾貳萬壹千圓(內政府出資額貳億八千四百拾九萬五千圓)ノ日本製鐵株式會社ガ誕生シタ譯デアアル。尙二ヶ年後ノ昭和十一年春大阪製鐵株式會社ヲ讓リ受ケタ。

當社ハ創立直後四圍ノ狀勢ヨリ生産力擴充ノ緊要ナルヲ認メ、直ニ増産計畫ヲ樹立シテ既設工場中ニ増産設備

ヲ増設スル外新設工場ノ建設ニ着手、既ニソノ竣工セルモノヨリ逐次作業ヲ開始シ、著々増産ニ邁進シテ居ルガ現在デハ本邦ニ於ケル鉄鐵産額ノ約九割、鋼材産額ノ約五割ヲ當社ガ産出シテ居ルノデアル。一方鐵鋼材ノ配給機構ノ整備ニツイテモ、亦各社ト協力シテ生産、配給方面ノ有機的統制ニ一段ノ努力ヲ拂ツテ居ル。又現下ノ如キ非常時局ニ省ミ、増産ヲ遂行スル爲メノ鐵鋼資源ノ獲得ニ對シテハ積極的方策ヲ講ジ、殊ニ最近ニ於テハ國內資源ノ開發ニ力ヲ致シテ居ル次第デアル。

是等ノ増産計畫遂行ニ要スル經費ハ社内留保金及社債ニ依ツテ之ヲ賄フ事ニナツテ居ルガ更ニ昭和十三年五月三十日臨時株主總會ニ於テ當社民間株式ニ對シ一倍半ノ増資ヲ可決、從來ノ資本金ヲ約一億四千餘萬圓増加シテ新資本金ヲ五億圓トシ、生産擴充ノ具現ニ萬遺憾ナキヲ期シ、東洋ニ於ケル最大ノ製鐵會社トシテ平戰時ヲ問ハズ國策ノ大本ニ添ウテ經營ノ合理化ヲ圖ツテ居ルノデアル。

二 組織

一、役員ハ現在取締役十七名、監査役五名ヲ取締役會長ハ取締役中ヨリ社長ハ代表取締役中ヨリ選任セラレ、取締役會長ハ株主總會及取締役會ノ議長トナリ、社長ハ取締役會ノ決議ヲ執行シ社務ヲ總理スル常務取締役ハ株主總會ニ於テ取締役中ヨリ選任セラレ社長ヲ輔佐シテ社務ヲ掌理スル。又常任監査役ヲ置キ株主總會ニ於テ監査役中ヨリ選任セラレ。

二、東京ニ本店ヲ置ク。本店ニ總務、經理、購買、販賣、技術及監理ノ六部ヲ置キ各部ヲ通ジテ十九課ニ分掌、別ニ臨時建設局ヲ設ケ當社擴張計畫ニ伴フ建設事務ヲ分擔シテ居ル。又社長ニ專屬ノ秘書役ヲ置ク。

三、本店ノ外八幡、輪西、釜石、大阪、兼二浦ノ各製鐵所、富士製鐵所及二瀬製鐵所ノ七作業所ヲ置ク。

四、臨時建設局ニ於テハ八幡、輪西及廣畑ニ於ケル擴張計畫ヲ實施中デアリ、近ク朝鮮清津ニ於ケル新設工場ノ建設ニ着手ノ豫定デアル。

三 作業概要

當社ニ於ケル作業概要ハ、八幡製鐵所ニ於テハ鉄鋼一貫作業ニ依ツテ熱經濟ト作業ノ合理化トヲ圖ツテ居ルガ釜石、兼二浦兩製鐵所ニ於テモ作業ノ一部分ハ該作業ニ依ツテ居ル。輪西製鐵所ハ現在製鉄作業ノミヲ行ツテ居リ、又富士製鐵所、大阪製鐵所ニ於テハ層鐵法ニ依ツテ單獨製鋼作業ヲ行ツテ居ル外、他作業所ヨリ鋼塊ノ融通ヲ受ケテ鋼材ノ壓延ヲ行ツテ居ル。

四 作業工程

當社ニ於ケル鉄鋼一貫作業工程ヲ略述スレバ左ノ通りデアル。

一、鐵礦石ヲ「コークス」石灰石及「マンガン」鐵石ト共ニ熔鑪ニ入レ熱風ヲ送り加熱スルト鐵分ハ還元シ

二、組織 三、作業概要 四、作業工程

テ約十三時間位デ鉄鐵(ズク)トナリ夾雜物ハ鑛滓(ノロ)トナル。尙「コークス」ハ石炭ヲ「コークス」
爐ニ入レ約二十時間蒸焼ニシテ造ル。

二、鉄鐵ハ熔ケタママノモノヲ混鉄爐ヲ經テ平爐ニ送り此處デ屑銅ヤ鐵鑛石ヲ加ヘ「ガス」デ熱シ通常六―七
時間位精鍊シテ銅ノ地金トナシ金型ニ注込デ銅塊トスル。

三、銅塊ハ赤熱シタモノヲ分塊工場デ壓シ延バシ適當ノ太サニ裁斷シテ銅片トシ其ノ冷ヘナイ間ニ鋼材壓延工
場(製品工場)ニ移シ壓シ延バシテ「レール」ヤ鋼板其ノ他各種ノ鋼材ヲ造ルガ鋼板ヤ中小形ノ鋼材ヲ造ル
ニハ其ノ粗材ガ冷ヘ易イノデ概ネ銅片ヲ再熱シテ壓シ延バス。

四、鉄鐵ヲ造ル時ニ出來ル鑛滓カラハ高爐「セメント」、鑛滓煉瓦、鑛滓「バラス」、鑛滓綿ヲ造リ熔鑛爐カラ出
ル「ガス」ハ洗滌シテ工場内各種ノ燃料ニ供ス。

五、「コークス爐ガス」カラハ硫酸「アンモニア」、「ペンゾール」、「クレオソート」油其ノ他種々ノ副産物ヲ造リ
「ガス」ハ各種ノ燃料ニ使用スル。

五 主要製品及副産物

主要製品

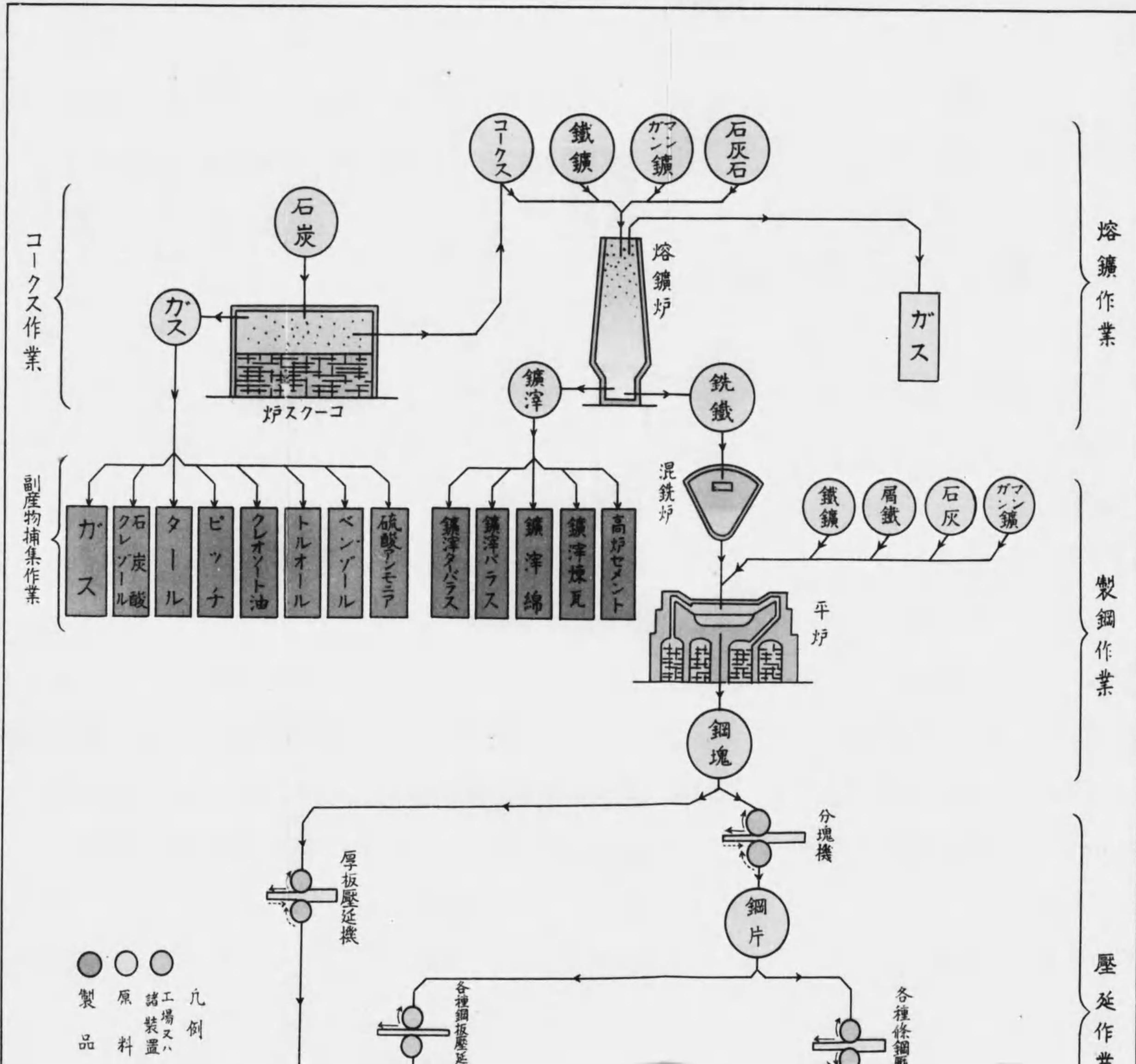
鉄鐵及合金鐵 製鋼用鉄、鑄物用鉄、低磷鉄及合金鐵

壓延作業

凡例

- 工場又ハ諸裝置
- 原料
- 製品

製鐵所作業工程圖



五 主要製品及副産物

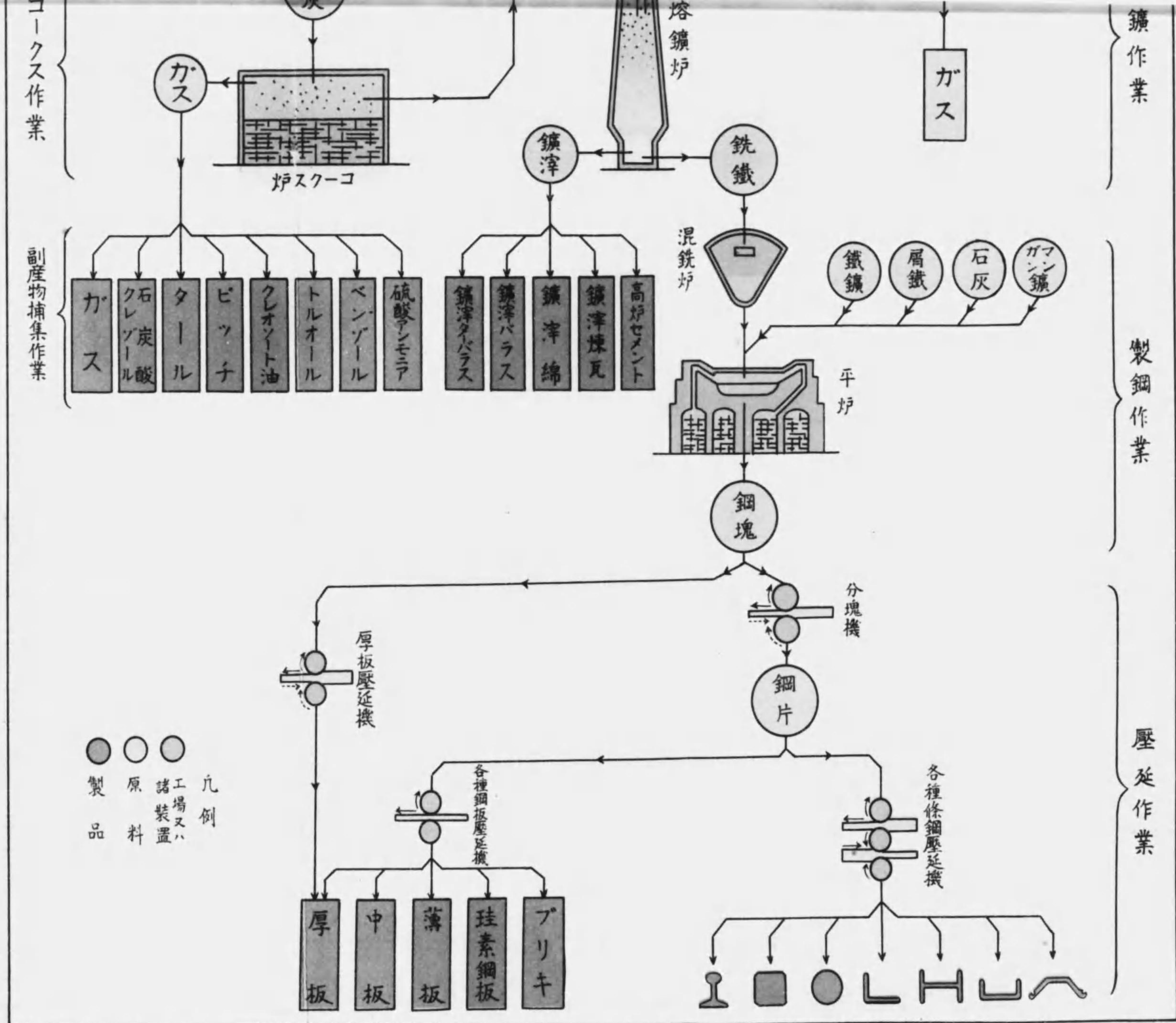
主要製品
鉄鐵及合金鐵 製鋼用鉄、鑄物用鉄、低磷鉄及合金鐵

「ガス」ハ各種ノ燃料ニ使用スル。

五 主要製品及副産物

主要製品

鉄鐵及合金鐵 製鋼用鉄、鑄物用鉄、低磷鉄及合金鐵



銅塊及鑄銅 普通銅塊及鑄銅、合金銅塊及鑄銅
銅材 棒鋼、形鋼、レール類、厚板、中板、薄板、ブリキ、珪素鋼板、美裝鋼板、線材、帶鋼、
外輪、鍛鋼品、鑄鋼品、其ノ他合金銅鋼材

副産物

熔鑄爐副産物 高爐セメント、鑛滓煉瓦、鑛滓ガラス、鑛滓綿
コークス爐 硫酸アンモニア、ベンゾール類、クレオソート油、タール、ピッチ、其他
副産物

六 作 業 所

八 幡 製 鐵 所

一、沿革 明治二十九年春製鐵所官制發布セラレ、同三十四年二月作業開始、爾後官營ノ下ニ設備ノ擴張改良ヲ
圖リ名實共ニ我國製鐵業ノ根幹ヲ爲シテ來タガ同所へ以前ヨリ委任經營サレテ居タ左記ニ製鐵會社

一、九州製鋼株式會社（西八幡工場）

大正六年創立昭和三年秋ヨリ製鐵所ニ於テ同工場ヲ借受ケ作業中デアツタモノ

一、東洋製鐵株式會社（戸畑作業所）

五、主要製品及副産物 六、作業所（八幡製鐵所）

大正六年創立大正八年五月作業開始同十年製鐵所ニ於テ同工場ヲ借受ケ作業中デアツタモノ
ヲモ本製鐵所ト共ニ相前後シテ昭和九年二月設立シタ日本製鐵へ現物出資シ是等ノ工場全部ヲ併セテ八幡製
鐵所ト改稱シタ。

二、組織 所長、次長、技師長及庶務、經理、製鉄、製鋼、工務、監理ノ六部、企畫課、技術委員會、研究所、
病院ヲ置キ更ニ各部ヲ通ジ三十三課ニ分ツ。

三、作業概要 當所ノ設備ハ熔鑪、平爐、電氣爐、鋼材壓延機等相當基數ヲ有スル規模ノ下ニソレニ附帶セル
諸々ノ設備ガアリ、鉄鋼一貫作業ヲ大規模ニ行ツテ居ル本邦唯一ノ工場デアル。當所ハ鋼管、帶鋼ノ製造ヲ
除ク普通壓延鋼材ノ殆ンド全品種及相當量ノ副産物ヲ產出シテ居ル。

四、主要製品及副産物

(イ) 主要製品

鉄 製鋼用鉄、鑄物用鉄

鋼塊及鋼鑄物 普通鋼鋼塊及鑄物、合金鋼鋼塊及鑄物

鋼材 レール(各種)、レール繼目板、等邊山形鋼、不等邊山形鋼、工形鋼、溝形鋼、丁形

鋼、球山形鋼、乙形鋼、鋼矢板、丸鋼、角鋼、六角鋼、平鋼、線材、厚板、ユニバ
ーサル平鋼、中板、薄板、ブリキ、美裝鋼板、珪素鋼板、外輪、車軸、鍛鋼品、各

(ロ) 副産物

種合金鋼鋼材、ボルト、ナット、リベット、スパイキ

熔鑪副産物 高爐セメント、鑄滓煉瓦、鑄滓ガラス、鑄滓ターガラス、鑄滓綿

副産物 コークス爐 硫酸アンモニア、ピッチ、ピッチコークス、石炭酸、クレゾール、純ベンゾール、
純トルオール、モーターベンゾール、ソルベントナフサ

五、福利施設 (一)從業員ノ爲教習所及青年學校ヲ設ケ、(二)從業員及家族ノ診療機關トシテ病院ヲ置キ、(三)公傷病
ニ因ル不具者ノ職業再教育ヲ行ヒ、(四)共済組合ヲ組織シテ公傷病其ノ他ニ對スル給付、貯金部、貸付部ノ設
置及購買部ニヨル日用品ノ廉價供給、(五)懇談會及部所協議會ニ於テハ意思疏通ヲ圖リ、(六)從業員及其ノ家族
ニ對シ慰安會ヲ開催、(七)從業員會館ヲ設ケテ教化修養及慰安、娛樂ニ關スル諸施設及圖書館、人事相談所ヲ
置キ、集會所大谷會館ヲ經營スル。

輪西製鐵所

一、沿革 明治四十二年北海道炭礦汽船ガ噴火灣附近ノ砂鐵ヲ原料トシテ熔鑪爐作業ヲ開始シタガ創業ニケ月デ
中止、更ニ大正二年末再ビ操業セル等ソノ經營組織上幾多ノ變遷ヲ經テ昭和六年十月輪西製鐵株式會社トナ
リ、昭和九年二月其ノ製鐵事業一切ヲ日本製鐵ニ於テ繼承シタ。

六、作業所(輪西製鐵所)

- 二、組織 所長ノ下ニ庶務、作業ノ兩部ヲ置キ、之ヲ九課ニ分ツ。
- 三、作業概要 當所ハ熔鑄爐及其ノ附帶設備ヲ有シ、鉄鐵ハ冷鉄トシテ、販賣向ニ用ヒ、熔鑄爐「ガス」ハ汽罐及爐ノ燃料トシ「コークスガス」ヨリハ「アンモニア」、「ベンゾール」、「クレオソート」油其他ノ副産物ヲ抽出スル。

四、主要製品及副産物

- (イ) 主要製品 鉄 製鋼用鉄、鑄物用鉄
- (ロ) 副産物 硫酸アンモニア、ピッチ、クレオソート油、アンスラシン、ナフタリン、ベンゾール、トルオール、ソルベントナフサ
- 副産物 物

- 五、福利施設 (一)從業員ヘノ社宅貸與、(二)從業員及其ノ家族ノ爲メノ醫療施設、(三)俱樂部ヲ設ケ娛樂修養ニ資シ又慰安會ヲ催ス、(四)共濟會ヲ設ケテ諸給付ヲ爲シ、(五)物品配給所ヲ設置シテ日用品ノ配給ヲ行ヒ、(六)勞務委員會ニヨル從業員ノ福利及工場能率ノ増進、(七)懇談會ニヨリ各課ニ於テ勞務委員會ト類似ノ事項ヲ協議スル。

釜石製鐵所

- 一、沿革 享保十二年釜石鐵鑛石ノ發見アリ。明治初年ヨリ幾度カ鐵製鍊ノ舉ガアツタガ成功スルニ至ラズ其間種々ノ曲折ヲ經テ明治二十年釜石鑛山田中製鐵所ガ製鍊事業ヲハジメ、遂ニ明治三十六年壓延鋼材ノ製造ヲ開始、大正六年三月田中鑛山株式會社トナリ、大正十三年七月三井ヘ其ノ經營ヲ移スト共ニ釜石鑛山株式會社ト改稱シタガ昭和九年二月一日日本製鐵ニ於テソノ製鐵事業一切ヲ繼承シタ。

- 二、組織 所長 技師長及庶務部、作業部ヲ置キ、更ニ兩部ヲ十二課一病院ニ分チ別ニ技師長ニ直屬ノ技術課ヲ置ク。

- 三、作業概要 當所ハ熔鑄爐、平爐、鋼材壓延機等所謂鉄鋼一貫作業ノ設備ヲ有シ、鉄鐵ノ一部ハ冷鉄トシテ外部ニ賣却シ、又ハ社内工場ニ於テ之ヲ使用、大部分ハ熔鉄ノ儘平爐ニ送り精鍊シテ鋼塊ヲ造リ之ヲ壓延シテ各種鋼材ヲ生産スル。

熔鑄爐ノ鑄滓(ノロ)ニテ鑄滓煉瓦ヲ造リ「コークス爐ガス」ヨリ「アンモニア」、「ベンゾール」、「クレオソート」油其他ノ副産物ヲ抽出シ「ガス」ハ燃料トシテ使用スル。
右ノ外電氣爐ニテ珪素鐵及「マンガン」鐵ヲ製造スル。

四、主要製品及副産物

- (イ) 主要製品 鉄 製鋼用鉄、鑄物用鉄
- 六、作業所(釜石製鐵所)

- 合金鐵 珪素鐵、マンガン鐵
- 鋼塊及鋼鑄物 普通鋼鋼塊及鑄物
- 鋼材 小形丸鋼、中小形山形鋼、平鋼、シートバー
- (ロ) 副産物 硫酸アンモニア、粗製ベンゾール、タール
- 五、福利施設 (一) 従業員ニ住宅ヲ供シ、(二) 従業員及家族ノ爲メ病院ヲ置キ、(三) 娛樂慰安トシテ俱樂部、公園及運動場アリ、(四) 従業員ノ意思疏通並ニ共濟ヲ圖ル爲メ眞道會ト稱スル機關ヲ設ケ、(五) 購買部ヲ置キテ日用品ヲ供給ス。(六) 青年職工教化ノ爲メ青年學校及青年團ヲ設ク尙獨立ノ釜石製鐵所在郷軍人分會ガアル。

富士製鋼所

- 一、沿革 大正六年末富士製鋼株式會社創立セラレ、鋼塊、鍛鑄鋼品及機械類ノ製作ニ着手シタガ、歐洲大戰後同十二年二月事業ヲ中止シタ。其後經營者代リテ工場設備ヲ改變同十四年壓延鋼材ノ生産ヲ開始、事業ヲ繼續シテキタガ、昭和九年二月一日其ノ製鐵事業一切ヲ日本製鐵ニ於テ繼承シタ。
- 二、組織 所長ノ下ニ事務、作業ノ二課ヲ置ク。
- 三、作業概要 當所ハ平爐壓延機ノ設備ヲ有シ、屑鐵製鋼法ニ依リ、鋼塊ヲ造リ壓延シテ小形棒鋼ヲ作り又帶鋼ヲ作ル。

四、主要製品

- 鋼塊 普通鋼塊
- 鋼材 丸鋼、八角鋼、平鋼、等邊山形鋼、帶鋼
- 五、福利施設 (一) 共和會ヲ設ケ従業員相互ノ救濟、慰問ヲ爲シ、娛樂機關ヲ設置シ、會員及家族ノ慰安會ヲ催シ、(二) 集會所従業員會館ヲ設ケ、(三) 懇談會ヲ開設シテ意思ノ疏通ヲ圖リ、(四) 公傷病ニ因ル不具者ノ職業再教育ヲ施シ、(五) 其ノ他健康ノ増進及災害防止等ノ爲種々ノ施設ヲ爲ス。

大阪製鐵所

- 一、沿革 大正四年大阪製鐵株式會社創立セラレ、同五年製鋼並ニ壓延作業ヲ開始シテ以來製鋼業ヲ持續シテ來タガ、昭和十一年五月一日同工場ノ設備一切ヲ日本製鐵ニテ讓受ク。
- 二、組織 所長ノ下ニ庶務部及作業部ヲ置キ、之ヲ八課一掛ニ分ツ。
- 三、作業概要 當所ハ平爐、壓延機ヲ有シ屑鐵製鋼法ニ依リ鋼塊ヲ作り之ヲ壓延シテ中小形棒鋼、形鋼及厚鋼板ヲ造ル。
- 四、主要製品

六、作業所(富士製鐵所、大阪製鐵所)

銅 塊 普通銅々塊

銅 材 丸銅、平銅、角銅、等邊山形銅、厚板

五、福利施設 (一)購買會ヲ設ケ、日用品ヲ供給シ、(二)慰安會、講演會及講習會ヲ開催シテ娛樂修養ニ資シ、(三)從業員會館ヲ設ケ、(四)保健衛生及災害防止ニ關スル諸施設ヲ備フ。

兼二浦製鐵所

一、沿革 三菱合資會社ハ大正四年臨時建設部ヲ朝鮮兼二浦ニ置キ、直ニ製鐵所建設ノ工事ニ着手、同六年秋三菱製鐵株式會社設立セラレ大正七年熔鑄爐、翌八年製鋼及鋼材壓延作業ヲ開始シ、其後盛衰ハアツタガ、昭和九年二月一日其ノ事業一切ヲ當社ニ於テ繼承シタ。

二、組織 所長ノ下ニ庶務部、作業部ヲ置キ之ヲ十二課一病院ニ分チ別ニ所長ニ直屬ノ檢定課ヲ置ク。

三、作業概要 當所ハ熔鑄爐、平爐、壓延機等ヤハリ鉄鋼一貫作業ノ設備ヲ有シ鉄鐵ハ冷鉄トシテ外部ニ賣却スルモノノ外ハ、熔鉄ノ儘之ヲ平爐ニ送り、製鋼用ニ供シ鋼塊ノ一部ハ社内他工場ニ送り、其他ハ壓延シテ鋼材トスル。熔鑄爐「ガス」ハ燃料ニ供シ「コークス爐ガス」ヨリ「アンモニア」、「ベンゾール」其他ノ副產物ヲ抽出シ、「ガス」ハ之ヲ燃料トシテ利用スル。

四、主要製品及副產物

(イ) 主要製品

鐵 製鋼用鉄、鑄物用鉄、特殊鑄物用鉄、低磷鉄

銅 塊 普通銅鋼塊

銅 材 厚板、大形銅

(ロ) 副產物

コークス 硫酸アンモニア、ピッチ、ナフタリン、タール、モーターベンゾール、ソルベント

ナフサ、煉炭

五、福利施設 (一)從業員ニ社宅ヲ供シ、(二)從業員及家族ノ爲ニ病院ヲ設ケ、(三)職員ニハ俱樂部、職工ニハ共樂會ヲ設ケ修養娛樂機關トシ、(四)慰安會ヲ催シ、(五)日用品購買ノ爲供給所ヲ設置、(六)共樂會共濟會ト稱スル共濟施設ガアル。

二瀨鑛業所

一、沿革 官營製鐵所ニ於ケル「コークス」原料及燃料炭ヲ自給スル爲福岡縣嘉穗郡内ノ鑛區ヲ買收シ、明治三十二年末製鐵所二瀨出張所ヲ設置爾後漸次擴張シ、採炭中ノ處昭和九年二月一日製鐵所ノ出資ニヨリ之レヲ當社ニ於テ繼承シタ。

六、作業所(兼二浦製鐵所、二瀨鑛業所)

二、組織 所長ノ下ニ庶務部、鑛業部及鹿町、泊岸、池野ノ各支所ヲ置キ之ヲ三課、四礦、三支所、一病院ニ分ツ。

中央礦、潤野礦、高雄礦(此ノ三礦ヲ合セ二瀨礦トモ稱ス) 福岡縣嘉穂郡穂波村

稻 築 礦 福岡縣嘉穂郡稻築村

鹿 町 支 所 長崎縣北松浦郡鹿町村

泊 岸 支 所 樺太敷香郡泊岸村

池 野 支 所 長崎縣北松浦郡大野村

三、作業概要 二瀨礦ハ豎坑二本斜坑六本、稻築礦ハ斜坑一本、鹿町支所ハ水平坑三本斜坑一本、池野支所ハ斜坑四本アリ、夫々長壁法ニヨリ採掘シテ居ル。泊岸支所ハ目下採炭準備中デアル。運搬ハ二瀨及稻築礦ニ於テハ切羽ニ「コンベヤー」ヲ用ヒ片磐ハ「エンドレス」又ハ手押ニ依リ次デ坑外ニ捲揚ゲ洗炭シ、貨車積トスル。鹿町支所ニ於テハ切羽ハ「スラ」又ハ「トーマス」式運搬法ニヨリ、片磐ハ手押ニ依リ次デ坑外ニ捲揚ゲ洗炭シ本船積トスル。池野、柚木及神田坑ハ「コンベヤー」ヲ用ヒ「エンドレス」ニヨリ坑外ニ捲上げ貨車積トシ又ハ馬車ニテ貯炭場ヘ送ル。

四、福利施設 (一)從業員及家族ノ爲病院ヲ置キ、(二)懇話會及協議會ヲ設ケ意思ノ疏通ヲ圖リ、(三)自治防災團ヲ組織シテ災害防止及能率増進ニ努ム。此ノ外救護隊ヲモ編成、(四)購買會ニ依リ日用品ヲ供給シ、(五)共濟組合ニ

於テハ公傷病等ノ給付ヲ行ヒ、(六)共濟會ニ依リ從業員及家族並ニ遺族ノ困厄ヲ救濟シ、(七)青年學校及女子講習所ニ於テ教養ヲ授ケ、(八)公傷病ニヨル不具者ノ職業ノ再教育ヲ施シ、(九)從業員會館ニヨツテ心身ノ修養、鍛鍊、休養、慰安等ニ資ス。

391
3

昭和十三年十一月二十八日印刷
昭和十三年十二月一日發行

(非賣品)

編輯
兼
行人

佐藤正義

東京市小石川區竹早町七十五番地

印刷
人

石井精一郎

東京市京橋區新富町一丁目七番地三

印刷
所

安信舎印刷所

東京市京橋區新富町一丁目七番地三

發行
所

日本製鐵株式會社

東京市麴町區丸ノ内二丁目二十番地一

終

